

公益社団法人 地盤工学会  
**基準部会**  
 平成 26 年度第 1 回 議事録

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 26 年 5 月 2 日 (金) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	竹下 祐二	○	★理事	佐藤 毅	○	幹事	仙頭 紀明	○
★部員	浅田 素之	○	部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	×
部員	斉藤 和則	×	部員	高柳 剛	○	★部員	浜田 英治	○
部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	○	★部員	峯岸 邦夫	○
部員	吉嶺 充俊	×	オブザーバー	中川 直	×			

★：H25 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配付資料

資料番号	資料
資料-26.1.0	平成 25 年度 第 6 回基準部会議事録案
資料-26.1.1	地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン、フロー
資料-26.1.2	基準英文フォーマット
資料-26.1.3	基準の英訳作業優先順位表（案）
資料-26.1.4	英訳実施委員の推薦者リスト（案）
資料-26.1.5	地盤調査規格・基準委員会 平成 26 年度 WG メンバーの変更
資料-26.1.6	表記法検討委員会 平成 26 年度委員会構成案
資料-26.1.7	地盤工学の「用語」に関する JIS 規格（意見募集）
資料-26.1.8	理事会（H26/3/14, 4/23（書面会議））報告資料
資料-26.1.9	地盤調査規格・基準委員会 会員からの質問と回答
資料-26.1.10	技能試験実施委員会 H25 第 3 回委員会（3 月 7 日開催）報告資料
資料-26.1.11	技能試験会告案（地盤工学会誌 6 月号掲載）
資料-26.1.12	英文 HP の解析結果および更新作業に関する報告
資料-26.1.13	和文 HP の基準・規格一覧表の更新作業について
回覧資料 1	「過酸化水素水を用いる pH 試験方法基準化検討」に関する報告書
回覧資料 2	日本工業標準調査会 標準部会 第 39 回土木技術専門委員会（3 月 18 日開催）報告資料

1. 前回議事録の確認

(資料-26.1.0, pp.1-7)

前回議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 平成 26 年度基準部の活動について (継続)

① 中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学としての戦略に関して (資料-26.1.1, pp.8-11)

(資料-26.1.2, pp.12-21)

- ・地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン案と基準英文フォーマット案が示された。一部修正したものを各委員会に提示し、意見をいただくこととなった。
- ・英訳を進めるに当たり、基準中の図の中の用語の英訳実施が課題であることを認識した。
- ・これまで英訳が完了した基準 (各 WG で英訳チェック・修正した版) は、このガイドラインを満たしているかとの質問に対して、大筋で満足しているとの意見があった。この英訳が完了した版について、ネイティブチェックを行う必要があるかについては今後議論を行う。
- ・業者による英訳済でかつ実施委員による見直し作業に着手していない基準は、このガイドラインに沿って再度業者に英訳を見直してもらった方が効率的ではないかとの意見があり、今後検討することとなった。
- ・英訳の具体的な進め方について 5 月 16 日に英訳業者と打ち合わせをすることとなった。

(資料-26.1.3, p.22)

地盤調査規格・基準委員会より英訳作業優先順位が示され、承認された。室内試験規格・基準委員会は佐藤理事が示した優先順位案からの変更はないことが口頭で報告された。

(資料-26.1.4, p.23)

- ・地盤調査規格・基準委員会より実施委員の案が示された。内諾が得られていない委員については今後、実施委員会から正式に委員就任を要請し内諾をいただくこととする。
- ・室内試験規格・基準委員会には実施委員の選定を依頼した。
- ・実施委員会の幹事長は仙頭幹事が行うこととなった。

② 試験基準の ISO 化に際しての確認事項に関して

③ その他

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

委員の交代を承認した。

① 幹事の交代

吉嶺充俊 氏 (首都大学東京) → 塚本良道 氏 (東京理科大学)

(理由) 基準部委員会運営細則 (原則として、継続期間 3 年を限度とする) による委員の交代

② 委員の交代

乾 徹 氏 (京都大学) → 肴倉宏史 氏 (国立環境研究所)

塚本良道 氏 (東京理科大学) → 片岡沙都紀 氏 (神戸大学)

安部哲生 氏 (高速道路総合技術研究所) → 藤岡一頼 氏 (高速道路総合技術研究所)

椋木俊文 氏 (熊本大学) → 平川大貴 氏 (防衛大学校)

(理由) 基準部委員会運営細則 (原則として、継続期間 3 年を限度とする) による委員の交代

**理事会報告** (2) 地盤調査規格・基準委員会

① 平成 26 年度 WG メンバーの変更

(資料-26.1.5, pp.24-28)

WG メンバーの変更を承認した。

(3) ISO 国内委員会 メール審議済み

① WG10 新任委員 (TC190 国内委員会)

小山博巳 氏 (柴田科学取締役 (開発担当役員))

(理由) 柴田科学で 40 年間以上、環境測定機器の製作・製品化に尽力してこられ、学位 (工学) も取得されている。WG10 運営 WG で、ある ISO 案件にかかわる技術について、製品化をおこなうことになったため、分析機器の製品化の専門家として委員として、参加をお願いする。

② TC190/SC4 新任委員 (TC190 国内委員会)

星野 (高田) 裕子 氏 (独立行政法人 農業環境技術研究所 生物生態機能研究領域 主任研究員)

(理由) 農業環境技術研究所で土壌微生物群集の解析手法の開発に従事されており、特に核酸の解析に

よる手法に詳しい。SC4/WG4 では近年になり核酸の解析による手法の規格化が頻繁に議論されるようになってきたため、土壌微生物解析、とくに核酸解析による手法の専門家として委員に参加をお願いする。

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

**理事会報告** ①平成 26 年度委員会構成案

(資料-26.1.6, p.29)

委員会の構成を承認した。

退任①：谷 和夫 氏（独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター）

（理由）業務上の理由より、学会活動が困難のため（補充は今後の活動状況をみて検討予定）

退任②：吉嶺充俊 氏（首都大学東京 都市環境学部）

（理由）健康上の理由より、学会活動が困難のため（補充は今後の活動状況をみて検討予定）

交代：永留 健 氏（東亜建設工業（株））→田口博文 氏（東亜建設工業（株））

（理由）前任者が業務の都合上、活動が困難のため。交代者は前任者の推薦による。

(6) 技能試験実施委員会

(7) 部員の異動

#### 4. ISO 国内委員会 関係

#### 5. 地盤工学表記法委員会 関係

(1) 地盤工学の「用語」に関する JIS 規格（意見募集）

(資料-26.1.7, pp.30-44)

地盤工学の「用語」に関する JIS 規格案について、4つの委員会（室内試験、地盤調査、地盤設計・施工、ISO）から意見募集することを承認した。なお上記委員会に所属するすべてのメンバー（WGメンバーも含む）から意見をいただくこととする。締切りは6/30とする。

#### 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) 「過酸化水素水を用いる pH 試験方法基準化検討」に関する報告書

(回覧資料 1)

基準化検討 WG の活動報告書が回覧された。なお基準化 WG の設立は前回部会で承認済みである。

#### 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

#### 8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

#### 9. 技能試験実施委員会 関係

#### 10. 基準部所管刊行物

#### 11. その他

##### 【HP の更新について】

年度の初めに新しい委員の構成が部会で承認されたら委員名簿を更新する。その後の変更については、変更が生じたその都度またはある程度分量がまとまった時点で適宜、事務局が更新することを確認した。

次回部会までに各委員会で HP の該当箇所を出力し、変更点を朱書きして事務局に提出することとなった。

#### 報告事項

1. 理事会（H26/3/14、4/23（書面会議））開催報告

(資料-26.1.8, pp.45-54)

竹下部長より第 13 回理事会、第 1 回理事会の報告があった。

#### 2. 全体関係

(1) 日本工業標準調査会標準部会第 39 回土木技術専門委員会

(回覧資料 2)

#### 3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 26 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

資金援助額は 25 年度と比べて約 400 万円増えたこと、26 年度は学会からの持ち出し分無しで

対応活動を行う見通しであることが報告された。

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・日本建設業連合会	50 万円		○		
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		970 万円	○		
小計	200 万円	970 万円			
合計	1170 万円				

(2) 地盤工学表記法委員会

(3) 室内試験規格・基準委員会

(4) 地盤調査規格・基準委員会

①会員からの質問と回答

(資料-26.1.9, pp.55-56)

簡易動的コーン貫入試験に関する会員からの質問とそれに対する回答が報告された。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 技能試験実施委員会

①平成 25 年度第 3 回委員会議事録

(資料-26.1.10, pp.57-59)

②技能試験会告 (地盤工学会誌 6 月号)

(資料-26.1.11, p.60)

第 3 回技能試験実施委員会の報告ならびに 26 年度の技能試験の参加募集について報告があった。

(7) 販売促進 WG

(8) 英文 HP

①英文 HP の解析結果および更新作業に関する報告

(資料-26.1.12, pp.61-64)

英文 HP の解析結果と更新作業について報告があった。「基準」へのアクセス数は 3 位であること、アクセス地域について説明があった。英文 HP へのアクセス数をさらに増やすために、関連学会の英文 HP (例えば土木学会) に地盤工学会のリンクを貼ってもらうことも有効ではないか、検索エンジンの検索結果の表示順が上位になるような対策 (SEO 対策) も必要ではないかとの意見があった。

②和文 HP の基準・規格一覧表の更新作業について

(資料-26.1.13, pp.65-66)

高柳委員より和文 HP の更新作業について、規格・基準の一覧表が示された。公開前に各委員会で規格・基準の名称と基準番号について確認を行うこととなった。

(9) 調査研究委員会企画案 (地下水関係)

#### 4. 日本工業標準調査会 土木部会

##### ●H26 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	竹下 祐二	5/2,
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 和田信一郎 坂井 宏行  宮田 喜壽	4/23,

室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 岩石の繰返し強度試験方法基準化 WG ・WG13 岩石および岩盤の一軸引張り試験方法基準化検討 WG ・WG14 過酸化水素水を用いた pH 試験方法基準化検討 WG	川崎 了 (小口秀俊) (乾 徹) (大向直樹) (塚本良道) (安部哲生) 椋木 俊文 山下 聡 大島 昭彦 伊藤 洋 谷 和夫 川地 武	6/ 11,
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 載荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法 (仮称) ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 解散 ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 中村 裕昭 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏 進士 喜英	5/26,  4/16  6/23  5/29,
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/9, 7/10
技能試験実施委員会	日置 和昭	

## 5. その他

- 1) 理事会 (平成26年 5月16日 (金)) への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会 (平成 26年 6月3日 (火) 開催予定) への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
  - ・ 26年度第2回: 第1案 平成 26年 7月 8日 (火) 14:00~  
 第2案 平成 26年 月 日 ( ) 14:00~  
 (対応理事会 H26.7.25 or H26.9.26 )
  - ・ 26年度第3回: 平成 26年 9月 日 ( ) :00~  
 (対応理事会 H26.10.22 or H26.11.28 )

★ 平成 26 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

- ① 4月23日(水) ※書面審議
- ② 5月16日(金)
- ★ 6月12日(木) 総会/理事会
- ③ 6月19日(木) ※書面審議
- ④ 7月24日(木)
- ⑤ 9月26日(金)
- ⑥ 10月22日(水) ※書面審議
- ⑦ 11月28日(金)
- ⑧ 12月24日(水) ※書面審議
- ⑨ 1月30日(金)
- ⑩ 2月19日(木) ※書面審議
- ⑪ 3月13日(金)

- 
- ⑫ 4月22日(水) ※書面審議
  - ⑬ 5月15日(金)
  - ★ 6月11日(木) 総会/理事会